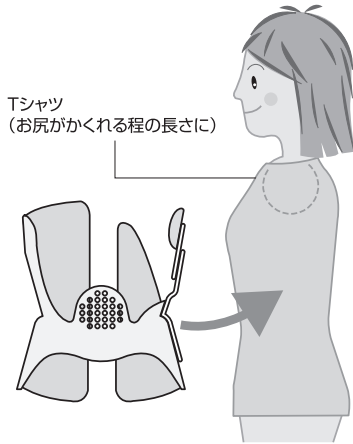


## 装着者用

### 1. 装着方法

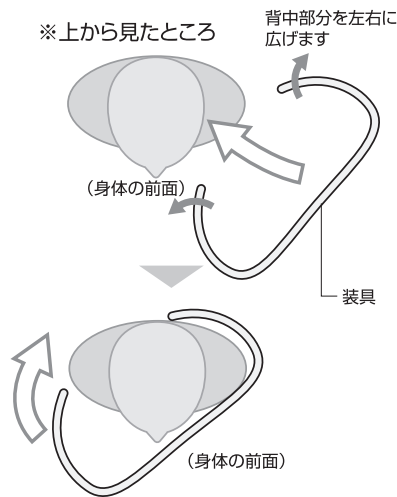
1



装具を着ける前に、半袖または長袖のTシャツか肌着(お尻がかくれる程の長さ)を必ず身に付けてください。

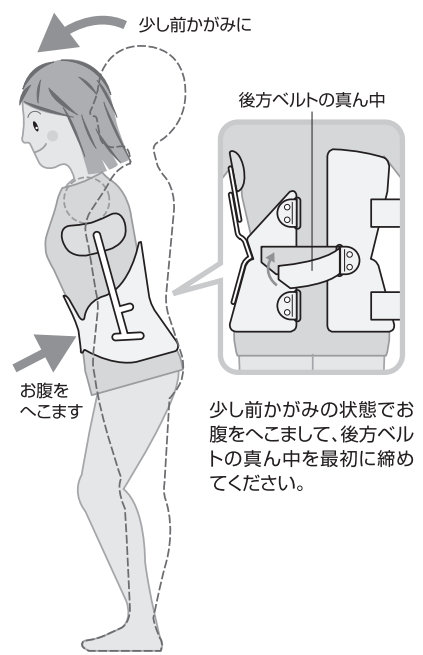
※必ず袖付きをおすすめします。

2



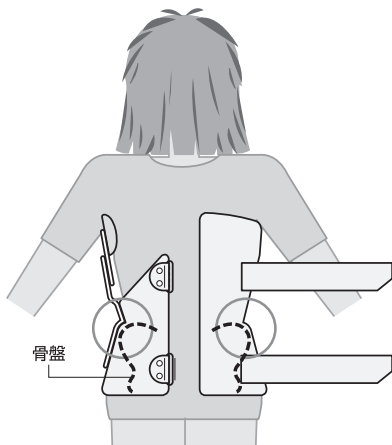
装具は後ろ開きになっていますので、装具の背中部分を左右に開いて、身体の前面から装具をからだに付けてください。

3



少し前かがみの状態でお腹をへこませて、後方ベルトの真ん中を最初に締めてください。

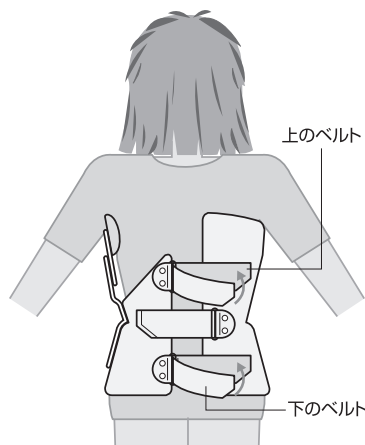
4



#### 重要

その際ウエストと装具のウエスト、骨盤の位置が合っているか確認します。

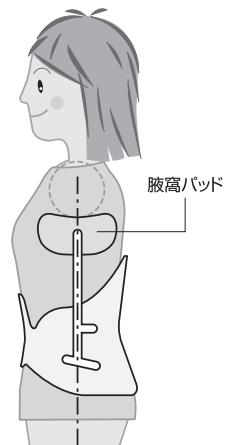
5



下のベルト、上のベルトを締め、さらにもう一度同じ順序で強く締め直してください。  
ベルトに線が引かれている場合、線まで締めてください。

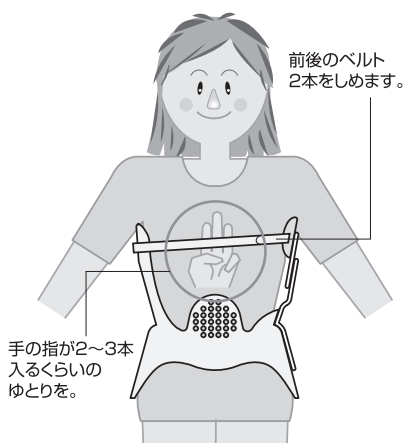
6

えきか  
腋窩パッドがある場合



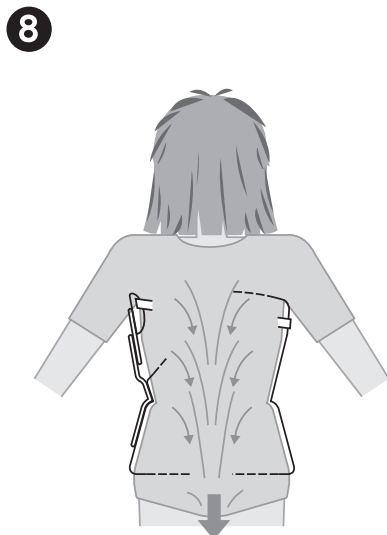
わき  
腋窩パッドが腋の中心にきている事を確認してください。

7 えきか 腋窩パッドがある場合



パッドに付いている前後のベルト2本をしめてください。胸部のベルトは手の指が2~3本入るくらいのゆとりが必要です。

※下着(パンツ)はトイレに行きやすいように装具の上に着けたほうが日常生活がしやすいでしょう。



下着のシワが骨盤や肋骨に当たると痛みの原因となりますので、シャツのシワは背中の中の真ん中になるように、肌着を装具の下から引っ張ってシワを伸ばしてください。

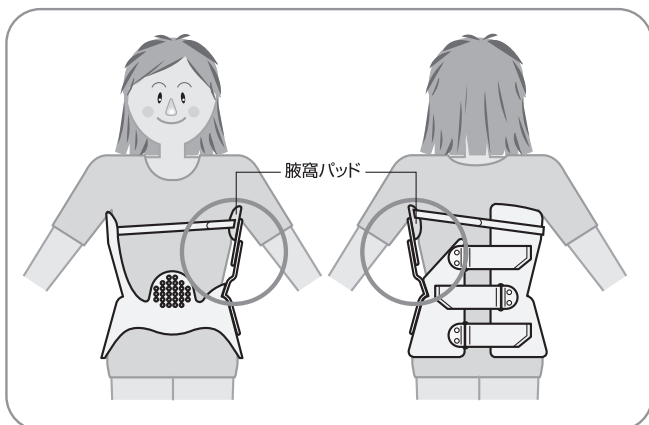
装具の装着には家族、学校の先生方、友達などの理解と協力が必要です。恥ずかしながら学校の先生や保健の先生に相談しましょう。

## 2. 装着後のチェックポイント

- ① 側方支柱やパッドが肋骨や腋<sup>わき</sup>に強く当たりすぎていないか確認してください。
- ② 下腹部の圧迫は、適度な状態ですか。
- ③ 骨盤に痛みはありませんか。

えきか 腋窩パッドがある場合

- 腋窩パッドはわきの下を支えるのが目的ではありません。彎曲の矯正と脊柱全体のバランスを改善させるための支柱です。
- 支柱が高すぎて腋窩を突き上げていませんか。
- 腋窩パッドが前後から大きくはみ出していないですか。
- 腋窩パッドのベルトが胸部や乳房を圧迫していませんか。



## 3. 汗をかいたときは

- ① シャツを取り替えてください。
- ② 装具に付いた汗は、乾いたタオルでふき取ってください。
- ③ ドライヤーやストーブのすぐ近くで、乾かさないでください。変形の原因となる場合があります。

## 4. こんな時は診察してもらいましょう

- ① 装具が骨盤などの骨に当たり痛いとき。
- ② 腰部、胸部の矯正部位の圧迫が強く皮膚に発疹が出来たとき、または赤く腫れたとき。
- ③ 成長して大きさが合わなくなったとき。
- ④ その他装具に異常があったときなど不明なことは医師にご相談ください。

装具完成後は定期的な医師の診察・チェックが不可欠です。次回の診察日を必ず確認してください。